

広報誌

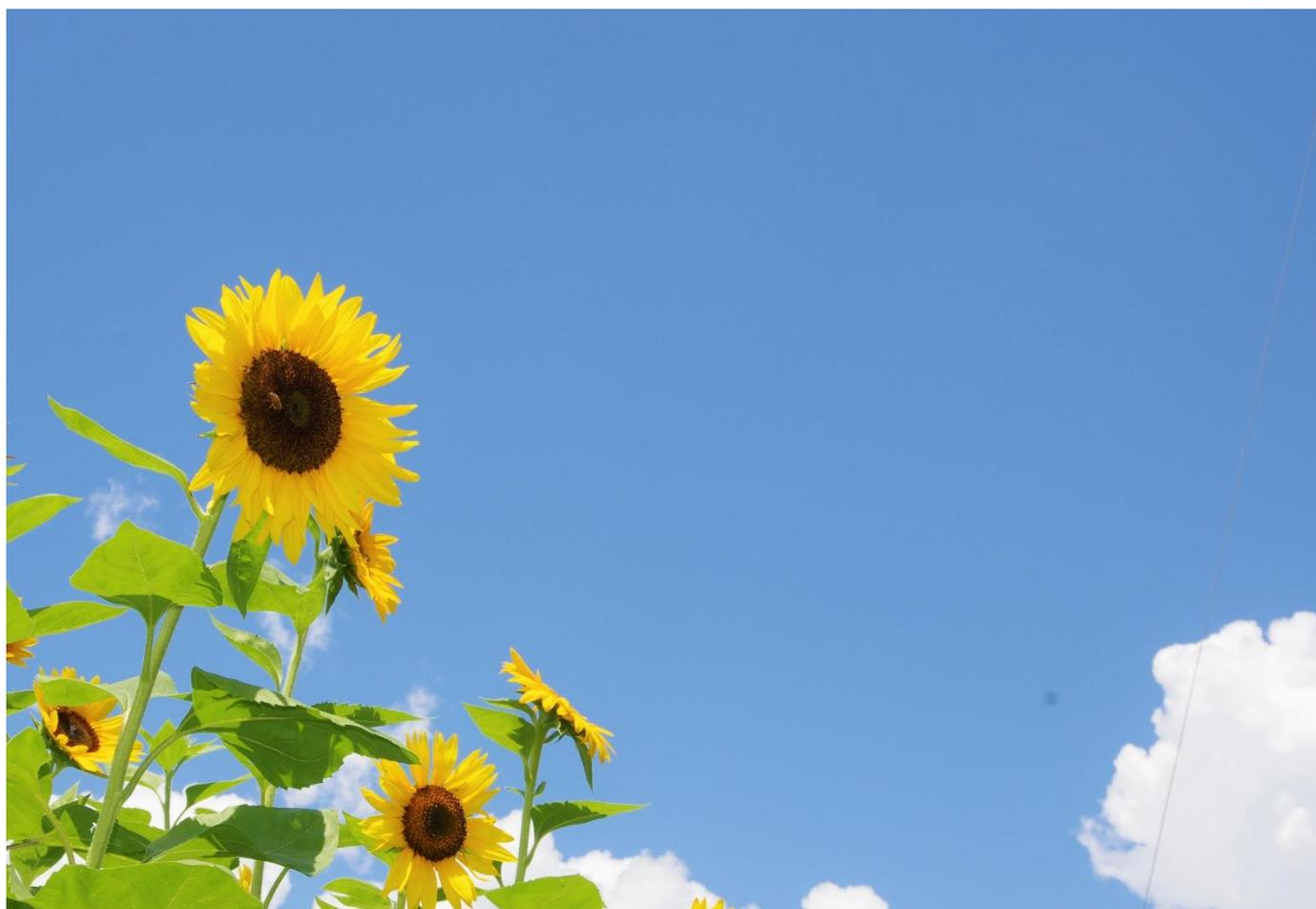
# ほのぼののだより

～ほのぼのとした暮らし、ほっとできるひとときを～

秩父市社会福祉事業団

第12号

令和4年8月発行



～もくじ～

- ご挨拶 ..... P 2, 3
- 流れる雲を追いかけて ..... P 4, 5
- ワクチンについて 医師の立場から ..... P 6, 7
- ゆくるの仲間たちへ ..... P 8, 9
- 連載『風に吹かれて』 ..... P 10
- 画『ほのぼの大航海』 ..... P 11
- Information ..... P 12

表紙の写真

そして、夏になりました。今年の夏は、何だかいつもより早く過ぎそうな気がしています。皆さんの夏は、いかがですか？



**明日を待つ喜び  
それが今日の幸せ  
時の過ぎゆくままに…**



本年2月2日に利用者2名のPCR検査の陽性が判明し、最終的には利用者30名、職員19名、計49名の陽性が確認されました。

通常運営に戻るまでの一カ月半は、ショートステイの受入れの中止、入浴や食事の変更、面会の中止等、利用者・ご家族の皆様方には大変ご迷惑とご心配をおかけ致しました。

クラスターの折、嘱託医の勅使河原先生には、並々ならぬご尽力を頂き、そのご指導とお力添えがあつてこそ我々は前に進むことが出来ました。入院・治療に関しましては、協力医療機関の秩父市立病院様をはじめ、秩父病院様、皆野病院様、南須原医院様、秩父郡市医師会様に多大なご協力を賜りました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

入院がままならず苦慮する中、ご対応いただきました病院の先生から、「この事態はある施設で起きていることではなく、秩父地域で起きていることですから」という言葉をいただきました。このお言葉は、私たちの心の支えになり、今もって忘れ得ぬものとなっています。

この度の経験は、私たちを原点に導いてくれたと思っております。利用者の皆様の命と暮らしを守ること、私たちの暮らす街の支えとして少しでも貢献すること、これらのことは、私たちの使命と覚悟です。そして、コロナと私たち人間が対峙する時、何よりも大切なものは心と心の繋がりであると身をもって経験し、一つの勇気を授かりました。

クラスター下、最前線に立つ施設スタッフは、懸命に奔走しました。まだ、未熟であるかもしれません。しかしながら、その姿は輝いていました。このことは、何にも代えられない誇りであると感じております。

施設におきましては、引き続き感染対策の徹底を図ってまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

養護老人ホーム長寿荘 施設長 加藤 孝  
特別養護老人ホーム偕楽苑 施設長 柿沼 仁



### ほのぼのだより 第12号発刊にあたって

コロナウイルスの蔓延、不安定な社会情勢、何かと落ち着かない日々が続いています。施設においても、コロナ対策を講じながらの生活が続いており、当たり前であった日常を思い起こす余裕すらないような時間が流れています。私たちは、このような世情だからこそ、少しでも穏やかな時が過ごせるように、少しでも笑顔でホッとできる時が持てるように、そして、人と人との関係が深まるような機会を大切にしたいと思っております。

ほのぼのだより11号の発刊から1年が経ちました。この度、ほのぼのだより12号の発刊にあたり、この1年、コロナと向かい合っただけの生活の中で、利用者の皆様とともに私たちが過ごしてきた、ぬくもりある穏やかな時間を感じて頂けたら幸いです。

ゆっくりと、そっと、おだやかに・・・、振り向けばあなたがいて  
流れる雲を追いかけてながら





# 『ワクチンについて 医師の立場から』

偕楽苑 嘱託医 勅使河原正敏先生



私たちの身の回りには、細菌やウイルスによって引き起こされるさまざまな感染症があります。これらを防ぐためにもっとも有効な手段がワクチンです。ワクチンは、感染症の原因となるウイルスや細菌を精製・加工して病原性（毒性）を弱めたりなくしたりして、体にとって安全な状態にしたものです。

ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンとトキソイドの3種類があります。生ワクチンは、生きたウイルスや細菌の病原性（毒性）を、症状が出ないように極力抑えて、免疫が作れるぎりぎりまで弱めた製剤です。自然感染と同じ流れで免疫ができるので、1回の接種でも十分な免疫を作ることができます。ただ、自然感染より免疫力が弱いので、5～10年後に追加接種したほうがよいものもあります。ワクチンの種類によっては、2～3回の接種が必要なものもあります。副反応としては、もともとの病気のごく軽い症状がでることがあります。該当するVPD（Vaccine Preventable Diseases ワクチンで防げる病気）は、ロタウイルス感染症、結核、麻疹（はしか）、風疹、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）、黄熱病などです。不活化ワクチンは、ウイルスや細菌の病原性（毒性）を完全に無くして、免疫を作るのに必要な成分だけを製剤にしたものです。これまでの不活化ワクチンに用いられた病原体の成分は、タンパク質や多糖体が主体でしたが、COVID-19 ワクチンでは、mRNA（メッセンジャーRNA）、DNAなどの核酸が用いられています。接種しても、その病気になることはありませんが、1回の接種では免疫が充分にはできません。ワクチンによって決められた回数の接種が必要です。該当するVPDはB型肝炎、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、百日咳、ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、A型肝炎、髄膜炎菌感染症、狂犬病などです。トキソイドは、感染症によっては細菌の出す毒素が、免疫を作るのに重要なものがあります。この毒素の毒性をなくし、免疫を作る働きだけにしたものがトキソイドです。不活化ワクチンとほとんど同じです。該当するVPDはジフテリア、破傷風などです。

ワクチンは接種した後の副反応がこわいと思っている人がいるかもしれませんが。ワクチンを接種した時に起こる副反応と、ワクチンを接種しないでその病気にかかった時の危険性をくらべると、ワクチンを接種しないで重症になった時の方が、ずっとこわいといえます。

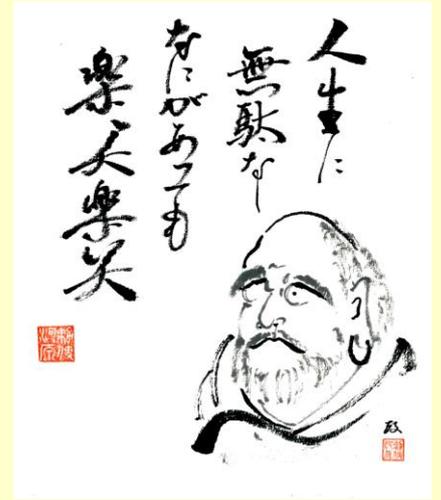
インフルエンザワクチンや新型コロナワクチンの予防接種は「個人を守る」と「社会を守る」のふたつの役割があります。また、多くの人が予防接種を受けることで免疫を獲得していると、集団の中で感染者が出ても流行を阻止することができる「集団免疫効果」が発揮されます。さらに、ワクチン接種することができない人をまもることにつながります。

私はワクチンをよくシートベルトにたとえます。シートベルトをしていても交通事故は起きますし死亡することはあります。ただ、だからといって、「シートベルトには効果がない」という意見は正しくありません。ポイントは、シートベルトで100%死亡を防げるかどうかではなく、シートベルトをすることで死亡する確率が減るということです。また、複数の対策を組み合わせることが有効です。シートベルトをすることと、安全な運転を心がけるといった複数の対策を組み合わせる必要があります。インフルエンザ予防も新型コロナ感染予防も、ワクチンだけではなく、手洗いやマスクの着用、3密（密閉・密集・密接）を避けるなどの日常的な感染予防や、十分な睡眠や栄養をとるといった複数の対策を組み合わせる必要があります。

なお、2020年9月までは不活化ワクチンの後は1週間、生ワクチンの後は4週間空けないと次のワクチンができないという決まりがありましたが、10月から法律が変わり、生ワクチンどうしは4週間空けなければいけませんがそれ以外は間隔の制限がなくなりました。

ワクチンに関連したことですが、日本と欧米諸国とで大きく違う点として、投与方法の違いがあります。欧米に限らず日本以外の多くの国では、ワクチンは筋肉内注射（筋注）で投与されていますが、日本では多くは皮下注射（皮下注）、もしくは皮下注または筋注となっています。日本では、ワクチンではなく主に抗菌薬やメチロンなどの鎮痛剤の薬剤筋注投与による大腿四頭筋短縮症が社会問題となり、筋注が避けられるに至りました。今後は、日本国内でのさまざまな背景を考慮し、筋注と皮下注による近年の研究結果から筋注による有益性を改めて検討しなおし、投与方法に関して再検討することが重要と考えます。例えば、インフルエンザワクチンに関する皮下注と筋注による抗体産生と副反応を比較した文献では、腫脹や圧痛などの局所の副反応は、皮下注群で優位に多く、抗体産生も筋注群で優位に高かったとされています。

最後に、これからもワクチン接種を進んで受けていただき、ご自身や愛するひとを守ってください。



今できることを、誰かのために・・・  
 思いと知恵とを紡いで、  
 あしたのために・・・



ゆくるの仲間たちへ  
みんなで作ってきた「ゆくる時間」  
これからも一緒に歩いていこう。  
いつも元気をありがとう!!





## 連載 『風に吹かれて』 ～心のかたちを知りたくて～

・・・もし心に形があるならば、もし心に色があるならば、たしかな思いを丁寧に紡いで綴ります。

### 『いつものように』

元秩父市社会福祉事業団職員 村松謙一

介護保険制度がスタートした平成12年、私の社会人生活もスタートしました。あれから21年、あっという間でした。楽しく笑い、真剣に考え、たくさん迷い、少しふざけて、そして、怒ったり、泣いたり・・・。それは、いつも楽しい時間でした。

前向きになれない時もありました。誰のための仕事かわからなくなる時もありました。人の命と人生を預かる仕事、その重さを感じながら走ってきました。失敗ばかりだったように思います。でも、喜んでくれる人がいて、元気になる人もいて、感謝して頂く時もある・・・。幸せでした。

たくさんの人と出会い、たくさんの人との別れを経験しました。出会う人はいつも私を新鮮な気持ちにさせてくれました。たくさん仲間に支えられました。そして、医療機関、行政の方々、お世話になった事業所の皆様、多くの方に助けて頂きました。足りないことばかりの自分です。教えて頂いたこと、経験させて頂いたことを胸に刻み、前に進んでいきたいと思っています。

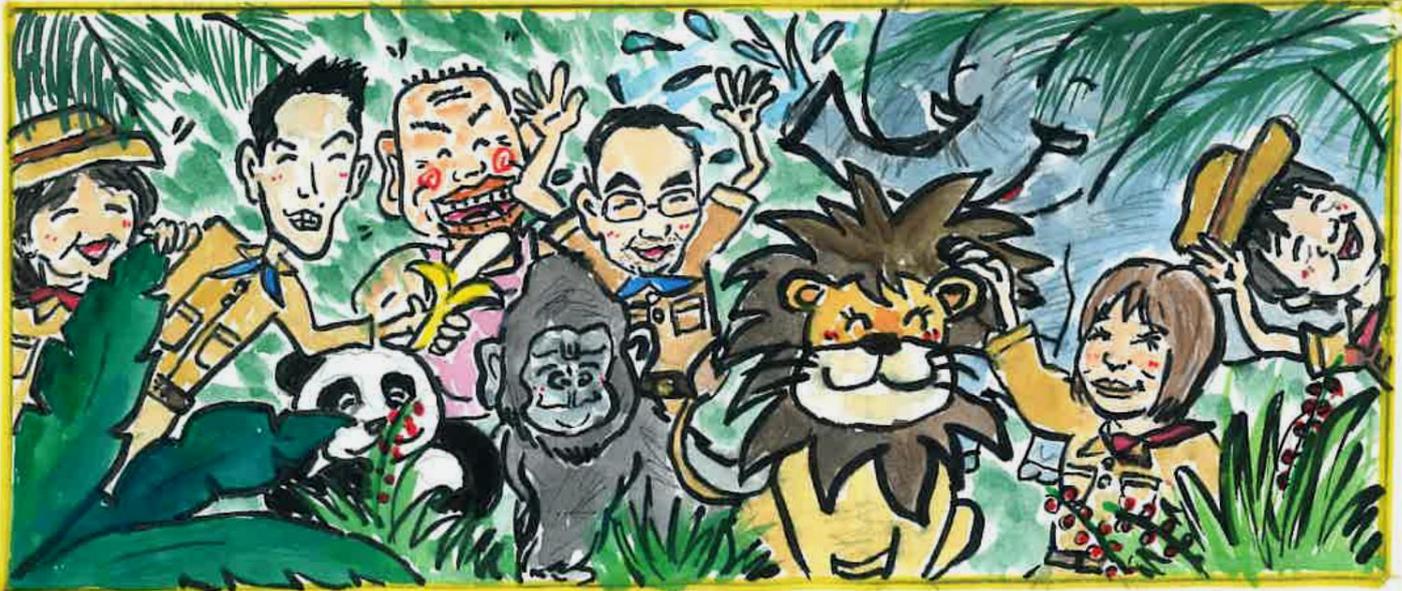
この21年は、私の大切な基礎。

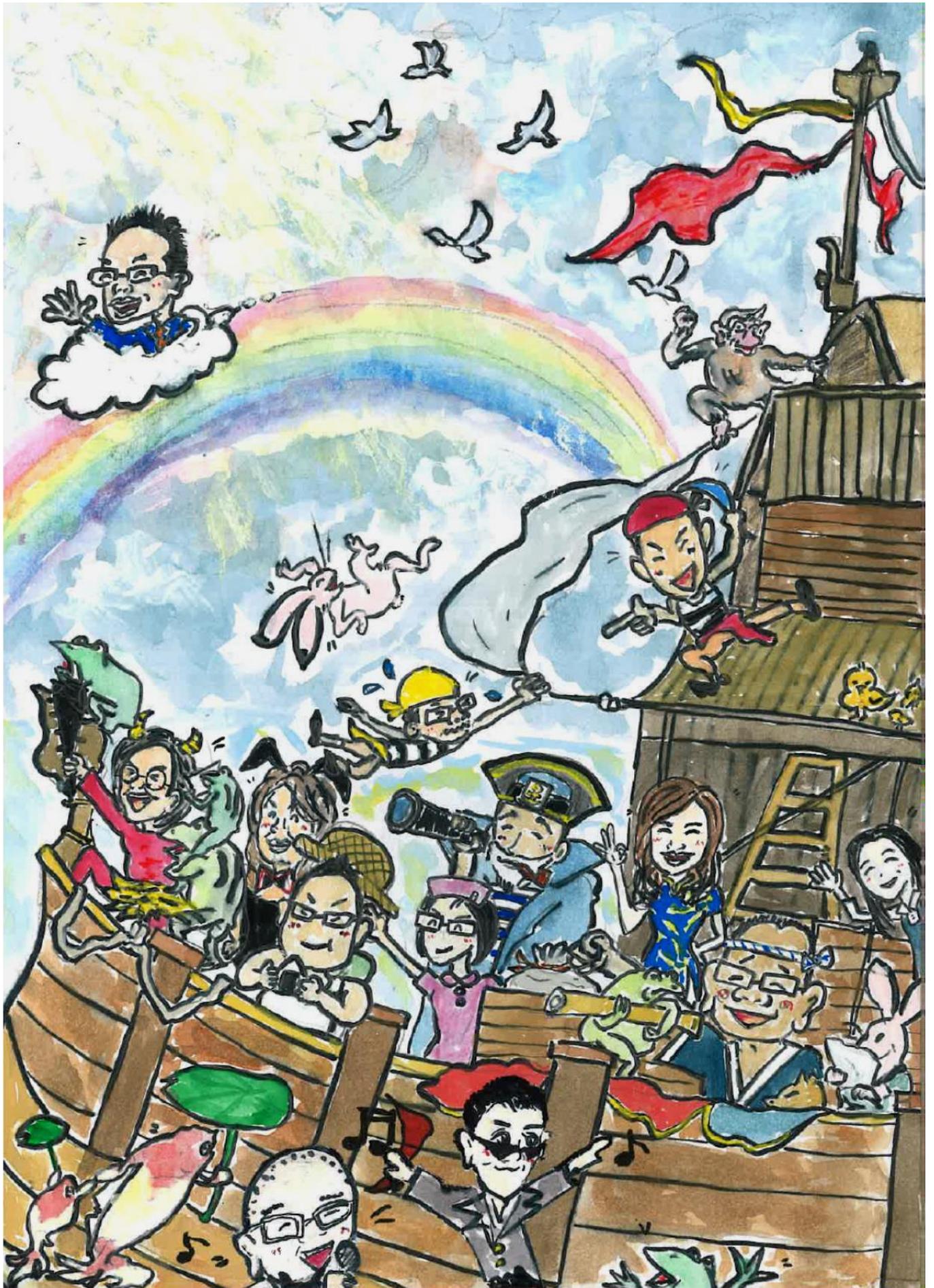
羊羹を食べたがる人、自分のことを好きだと言ってくれる人、異動の時に涙を流してくれたご家族、自分のことを認めてくれたご家族、自分を拒否した人、毎日電話をした人。自分を信じてくれた人、いつも待っていてくれた人・・・。

たくさんの方と出会い、たくさんを経験を積み重ねて頂きました。これからもたくさんの人と出会うことでしょう。時には、辛くなる時もあるかもしれません。泣きたくなる時もあるかもしれません。それでもここからの出会いを楽しみながら、前へ進んでいきます。

どこにいても、だれとでも。これまでのように、自分らしく。そして、人を思って、ひたすらに。

【Heart. 24】





画：柴崎

ほのぼのだより 第12号

# Information (秩父市社会福祉事業団からのお知らせ)

## 面会について

新型コロナウイルスは第7波に入り埼玉県内及び秩父地域でも感染が急拡大している状況です。ほのぼのマイタウンで2月に経験したクラスターの折には、皆様にもご迷惑をおかけ致しました。感染の予防には、万全を期して参りたいと存じます。つきましては、施設へのご面会方法は下記の通りとなります。ご不便をおかけいたしますが、感染防止に向けご理解・ご協力をお願いします。なお、感染状況等により、対応が変更となる場合もございますのでご了承ください。

### 《面会方法》

- ・面会をご希望の際は、事前にご予約をお願い致します。担当者までご連絡下さい。
- ・人数は原則2人以内、時間は15分以内でお願い致します。
- ・面会中の飲食は、お控え下さい。

## 浄化槽工事について

ほのぼのマイタウンでは、令和4年6月から令和5年1月下旬(予定)にかけて、浄化槽の入替工事を行っております。

皆様には大変ご不便をおかけしている所ではありますが、皆様のご協力もあり工事は順調に進行しております。安全第一に工事が完了することを願っております。今後とも何卒ご理解のほど、よろしくお願いたします。



## 職員採用

今年度第2回の正職員採用試験を9月18日(日)に予定しています。今後も下記の通り採用試験を予定していますので、詳細は当法人ホームページまたはハローワーク求人票をご覧ください。なお、見学等随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。無資格、未経験の方もお待ちしております。

【正職員】選考日：令和4年11月13日、令和5年2月予定 選考方法：作文、面接

【契約職員・パート職員】選考日：随時 選考方法：面接

＜お問合せ先＞ 秩父市社会福祉事業団 総務課 TEL：0494-21-5535 担当：加藤、長谷川

## 編集後記

1年ぶりに広報誌を編さんする中で、改めてたくさんの写真を目にしました。そこには、はじけるような笑顔、真剣な表情、幸せそうな様子、そして、通り過ぎて行った大切な時間が映っていました。どこか落ち着かない世情、何だか手探りのような生活が続くなか、写真に映るその姿その景色は、心の灯火のように感じました。

先日、蟬時雨の中をトンボが飛んでいました。季節の巡るのは早いものです。季節を感じると、今を生きる幸せと儚さを感じます。この幸せがずっと続きますように。そして、この幸せが誰かに届きますように。🦋

秩父市社会福祉事業団「Facebook」更新中！ <https://www.facebook.com/chichibu.honobonomytown>

秩父市社会福祉事業団 HP アドレス

<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/>



秩父市社会福祉事業団

検索

